

空き家活用リフォーム設計基準

【標準型】

項目	内容		
断熱改修工事	右記の断熱改修工事の範囲において、別表「断熱改修設計基準」に記載する基準に適合する工事をいずれか一以上実施すること。	「寝室+トイレ」又は「居間+脱衣室」を含む階全体	
		「寝室+トイレ」とそれらの室をつなぐ廊下	
		「居間+脱衣室」とそれらの室をつなぐ廊下	
バリアフリー工事	右記のうち、いずれかの項目を一以上を実施すること。	手すりの設置工事	1) 浴室 2) 便所 3) 洗面所又は脱衣所 4) 居室 5) バルコニー 6) 玄関、廊下又は階段(空家内)
		段差解消	1) 出入口(玄関、勝手口、便所、浴室、脱衣所、洗面所、居室等) 2) 便所、浴室、脱衣所、洗面所、居室等の床 廊下の床
		廊下幅等の拡張	1) 出入口(玄関、勝手口、便所、浴室、脱衣所、洗面所、居室等) 2) 廊下又は階段
トイレの水洗化工事	和式便器から洋式便器等への変更(水洗トイレ又は簡易水洗トイレに改善するものに限る。)		
内装木質化工事	内装仕上げに県内産の木材を使用する。		

【こうち健康・省エネ住宅型】

こうち健康省エネ住宅型の工事は上記の断熱改修工事とバリアフリー工事に加えて以下に示すリフォーム工事を行うものとする。

空気環境 (シックハウス対策)	建築基準法(昭和25年法律第2の1号)第28条の2の規定に基づくシックハウス対策(内装仕上げ規制)の実施	
地域材利用	いずれかの選択項目を一つ以上採用すること	内装仕上げに県内産の木材を使用
		内装仕上げに土佐和紙等の県内産の建築資材を使用

別表 断熱改修設計基準

断熱改修範囲 (いづれかの ゾーンを選択)	左記の断熱改修工事の範囲において、次の組み合わせのいずれかを実施															
	開口部*	屋根又は天井		外壁		床		外壁及び 間仕切り壁								
改修箇所	改修後の熱抵抗値 (mK/W)															
基準値	2.33以下	2.33超～3.49以下	3.49超～ 4.65以下	4.65超	屋根・4.6 天井・4.0	1.8	2.2 ・気流止め設置共		1.199997559	床:2.2	0.9	2.2 ・外壁は気流止め共 ・間仕切り壁は気流止め 設置のみでも可		1.2 ・外壁は気流止め共 ・間仕切り壁のみ可		
	木製(又は プラスチック 複合構造) サッシ+低放 射層ガラス に交換	木製(又は プラスチック 複合構造) サッシ+低放 射層ガラス に交換	金属製熱 遮断構造 サッシ+低放 射層ガラス に交換	2重サッシ 又は複層ガ ラス(A6)に交 換	既存単板ガ ラス +断熱フイ ルム**貼り	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分C [1] ~ =0.041~ 0.055]	熱伝導率 区分D [1] ~ =0.034~ 0.029]	
改修仕様 (例)					屋根: 185mm 天井: 110mm	75mm	90mm	75mm	50mm	45mm	90mm	40mm	35mm	75mm	50mm	45mm
1	●				●											
2	●						●									
3	●									●						
4	●										●					
5	●											●				
6	●												●			
7	●															
8	●															
9		●														●
10		●														
11		●														●
12		●														
13		●														
14		●														●
15			●													
16			●													
17			●													●
18			●													
19			●													●
20				●												
21				●												●

※1 小窓などの開口部において、その開口部の面積の合計が改修範囲の床面積の2%以下の場合については、断熱改修の対象から除外する。

※2 断熱フィルムは、遮熱係数(3mm厚フロートガラスを1とし、ガラスにフィルム貼付した場合の日射取得率の割合) 0.80未満を満足するものに限る。